

中間支援活動助成(創設)事業 実績報告

団体名	(特非)島くらし淡路	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 安達淳也
事業名	淡路市中間支援ネットワーク ふらっと の事務局機能構築事業			

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R6 計画	窓口：週5日 相談会：6回 / 10件	20件	20名 / 2回	2件	1件
R6 実績	窓口：週5日 相談会：6回 / 10件	18件	15名 / 2回	0件	1件

< 効果と成果 >

当初は、相談受付対応をHATCHへ委託し、島くらし淡路が相談対応を行い、その内容に応じて適切なネットワークへつなぐ体制を想定していました。しかし、採択時のご意見を踏まえ、改めて体制を見直し、以下のように変更いたしました。

まず、HATCHスタッフには「ふらっと」の活動周知および相談者来訪時に島くらし淡路へつなぐサポートを担っていただきます。その後、島くらし淡路が主体となって相談対応を行い、内容に応じて適切なネットワークへ接続します。さらに、つなぐだけでなく、島くらし淡路が伴走支援を行う体制とします。この体制により、島くらし淡路が「ふらっと」のハブ機能を担う存在であることが明確になりました。また、ネットワーク構築や人材育成、書類作成指導等の実績向上に向けては、さんぴいすからの助言・指導を受けながら、島くらし淡路内のネットワークのスキル向上を図っています。これにより、より安定的かつ質の高い業務遂行が可能となるよう体制を整備しました。

さらに今年度は、淡路市商工会に所属する「起業支援員」の方にも参画を打診し、ふらっと内のネットワーク者として加わっていただくこととなりました。今後は書類作成支援等についても、相談者とともに学び合いながら、島くらし淡路としての支援力向上を目指してまいります。

< 連携と協働の成果 >

ネットワークや地域の団体の皆さんと対話を重ねる中で、それぞれが持っていた地域の情報や気づきが自然と共有されるようになってきました。

これまで個人の中にあつた情報も見える形になり、団体同士での情報交換も少しずつスムーズになってきています。

また、さまざまな立場の方が集まる意見交換会では、「一人では難しい」と感じていた多世代交流や地域の課題についても、みんなで一緒に考え、動いていく関係性が生まれてきました。

島くらし淡路が「ハブ」となって調整がスムーズに進むよう、内部体制の強化、ネットワークとの協働活動、ネットワーク構築拡大に心がけた結果、「淡路市中間支援ネットワーク ふらっと」の事務局として、専門団体との緊密な協働も進み、中間支援組織としての基盤を強化できました。

< 今後の展望 >

今年度は周知に重点を置いた結果、イベント運営に多くの時間を費やしたことが課題となりました。

来年度は、HATCHの閉店に伴い拠点を当団体事務所へ戻し、予算上の外部委託も解消して、相談業務に注力したいと思っております。

完成したロゴを活用した紹介カードを広報の起点とし、活動の軸足をネットワーク構築、人材育成、書類作成指導の実績向上へと明確に移します。

また、ふらっとcafeの開催は市内5地区(岩屋・北淡・東浦・津名・一宮)へエリアを広げてを実施し、特定地域に限定されない「ハブ」機能を強化します。

今年度つながりを持った各地域で活動しているキーマンの支援も継続的に行い、第一次産業の担い手不足等の地域課題に対し、現場での信頼構築と伴走型支援を深化させ、移住者が地域と「まざる」ことで定住と活動を促進し、持続可能なまちづくりを牽引してまいります。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費等	65,799
合 計	565,799

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	謝金	149,000	149,000
	委託費	20,000	20,000
	旅費交通費	42,140	38,000
	その他(賃借料等)	164,997	143,000
	小 計	376,137	350,000
	間接経費(一般管理費)	189,662	150,000
	合 計	565,799	500,000